


## 育ちあい 話して深める親子関係

### プログラムのねらい

親子の絆を強め、信頼関係を築くためには、スキンシップや会話の仕方が大切です。ここでは、子どもとの何気ないやりとりの中に潜んでいる親のことばかけの問題性などに気付き、子どもの心が一層豊かに育つような会話術の身に付け方について学習します。

### 【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介します。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲームなどを通して緊張感を和らげ、活動しやすい雰囲気づくりをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。</li> <li>○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。</li> <li>○ゲームなどが終了するまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。</li> <li>○1グループにつき5~6人（全体の人数が少ない場合は3~4人）を目安に編成します。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「ワーク1」の事例を各自で読んでみましょう。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ポイントに書かれた3つのことに注意して、あなたが考えた言葉を書いてみましょう。</li> <li>○グループ内で発表し合い、推薦できる言葉かけを選びます。また、そのことばかけは子どもをどんな気持ちにさせるかについて話し合ってもらいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例からは、子どもの気持ちとして、テストの結果が不本意だったこと、親の気持ちとして子どもの学習のつまずきを改善したり、意欲的に取り組めるようになってほしいことを読み取るよう助言します。</li> <li>○グループ内では、全員が発言できるよう一言アドバイスをします。</li> <li>○書き出しが遅い参加者や難しく考え込んでいる参加者に対しては、まず、思いついた言葉から書いてみるように助言します。</li> <li>○全体の流れをそろえるために、ファシリテーター（学習支援者）が読み進めていく方法も考えられます。</li> <li>○言葉かけの内容としては、以下のようなものが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの気持ちをよく理解した表現となっているか。</li> </ul> </li> </ul>

	<p>◎次に、「ワーク2」に進みましょう。 各自事例を読みましょう。</p> <p>◎子どもが読書することや学習することに少しでも目を向けるような言葉を書いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを応援する親の温かさが伝わる表現になっているか。</li> <li>・学習のつまずきを克服して、前向きに取り組もうとする意欲づけになる表現になっているか。</li> </ul> <p>◎書けない参加者に対しては、「自分が子どもだったら、どんな言葉をかけてもらいたいか」と投げかけてみるようにします。</p> <p>◎①は個人作業で一人一人に熟考してもらうため、ある程度時間確保をします。</p> <p>◎グループ発表は、ややもすると時間がかかりすぎるので、時間を決めて運営していきます。</p> <p>◎グループ発表は、他のグループがどんな話し合いをしたのか、参加者にとっては大変興味関心があることなので効率的に取り入れるようにします。</p> <p>◎言葉かけに「正しい」、「間違っている」ということはありませんが、発表の中で多くの共感を得た内容を最後に押さえておく全員が充足感をもてます。</p> <p>◎発表内容の中で、親子のスキンシップを取り上げていたり、会話の仕方を工夫している点をあげている場合は積極的に賞賛していくようにします。</p> <p>◎グループ内で発表した後、よかった事例をグループごとに発表するので、あらかじめ選定しておくことを知らせます。</p> <p>◎プログラム集P81の資料「学習の取り組み方」のグラフを読み取り、日常の中で親子間の会話量を増やすことが子どもの意欲的な姿勢につながることを例示する方法もあります。</p>
まとめ 10分	<p>◎ふりかえり①②の活動を説明します。</p> <p>◎今日の学習のまとめをしましょう。</p>	<p>◎時間があれば②についての発表も考えられます。</p> <p>◎②については、自分の言葉かけの問題点に気づき、子どもとの関係が深められるような言い方を発見できるようにします。</p> <p>◎プログラム集P80の資料「上手にほめる」「上手に叱る」もヒントとして活用します。</p> <p>◎参加者の気づきがこれからの実生活で生かせるよう励まします。</p> <p>◎今日の学び合いの中で、参加者から聞こえてきた声や印象的な活動の様子など、具体的な場面を取り上げてまとめをします。</p>

※ 設定時間が短い場合は、ワーク1を中心に流れを考えるようにします。